

# 公共交通 メールマガジン

平成30年  
6月4日発行  
第57号

編集：国土交通省  
総合政策局公共交通政策部



平素より、当メールマガジンをご愛読いただきありがとうございます。  
今回は以下のラインナップでお送りいたします。



『のりたろう』船旅・公共交通の関心度アップに貢献！ @ 関空旅博2018

(近畿運輸局)



電車やバスなどを題材とした交通環境学習を応援します！必要経費を最大15万円補助【6月16日まで実践校募集中】

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)



「グリーンスローモビリティシンポジウム」を開催します。

(総合政策局環境政策課)

<掲示板>

☆ 地域公共交通支援センターについて

☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」について



## 『のりたろう』船旅・公共交通の関心度アップに貢献！ @ 関空旅博2018

(近畿運輸局)



5月19日(土)、20日(日)に関西国際空港で開催された「関空旅博2018」に「関西クルーズ振興協議会(事務局:近畿運輸局)」がブースを出展いたしました。

今年で14回目となる関空旅博は、毎年多くの人で賑わうイベントになっており、当協議会は第1回目から途切れることなく出展しております。

当協議会では、昨今話題のクルーズ客船での船旅の振興だけでなく、フェリーを利用した船旅の振興も合わせて行っており、ブースでは、船旅の魅力を発信すべくクルーズ船や観光船、フェリー船のパンフレットを配布するとともに、船長服着用体験、写真撮影及び写真を缶バッジにしてプレゼントするといったコーナーも設けました。記念に残る缶バッジのプレゼントは非常に人気が高く、常に列が出来るほどの盛況ぶり

でしたが、この待ち時間を最大限活用して「船旅・フェリー」のPRを行いました。

ぼくも缶バッジを作ったにや



賑わう協議会ブース

また、今年の「関空旅博」では「ゆるキャラ大集合」というステージイベントがありました。我らが公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」もステージに上がって、フェリーをはじめとした公共交通の利用促進をしっかりとアピールして参りました。



## 電車やバスなどを題材とした交通環境学習を応援します！

必要経費を最大 15 万円補助【6 月 16 日まで実践校募集中】

◆「公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団」からのご案内です。◆

交通エコロジー・モビリティ財団では、電車やバスなど交通環境に関する学習に取り組む小中学校を応援しています。実践校に選定されると、必要経費の補助をはじめ、教材や参考となるデータの提供など学習のバックアップが受けられます。6 月 16 日まで実践校募集中です！

### こんな学習が対象になります

地域の電車・バスなど（公共交通）について考える学習

クルマ社会の問題（渋滞・環境問題など）について考える学習

まちづくりと交通について考える学習

その他、まち・環境・公共（政治や公民的資質、シティズンシップなど）と交通に関わる、様々な学習

### こんなことをお手伝いします

地域の自治体や交通事業者などとの連携

教材や参考となるデータの提供

### こんな費用を補助します

外部講師謝金、旅費交通費、消耗品費、印刷製本費、図書資料の購入費など、最大 15 万円まで補助

※支援校は 15 校程度

※対象等一定の要件があります。申込方法など詳しくは WEB ページをご覧ください。

[http://www.mm-education.jp/gakkou\\_sien.html](http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html)



【お問合せ】公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団 交通環境対策部

TEL : 03-3221-7636 E-mail : [info@mm-education.jp](mailto:info@mm-education.jp)

## 「グリーンスローモビリティシンポジウム」を開催します。

(総合政策局 環境政策課)

国土交通省では、まち・住まい・交通の一体的な創蓄省エネルギーの実現・低炭素社会の実現を目指しています。今回、地域が抱える様々な交通の課題の解決と、地域での低炭素型モビリティの導入を同時に進められる「グリーンスローモビリティ(※)」の推進に向けて、グリーンスローモビリティを活用した実証調査(手動運転)を今年度行うため、グリーンスローモビリティの理解を深めていただくためのシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、グリーンスローモビリティの特長や、地域での具体的な導入イメージ、今後の活用可能性等について、基調講演や事例発表、パネルディスカッションを実施します。また、実証調査の地域募集に係る説明を行うとともに、同会場内では、各種グリーンスローモビリティ(ゴルフカー・eCOM8など)の展示コーナーや相談ブースも設け、実際にグリーンスローモビリティに触れていただき、グリーンスローモビリティへのご理解を深めていただきたいと思います。

※グリーンスローモビリティとは・・・  
電動で、時速 20km 未満で公道を走る  
4 人乗り以上のモビリティ



全国自治体のご担当者様をはじめ、多くのみなさまのご参加をお待ち申し上げます。

### ■ 開催日時

平成30年6月25日(月) 14:00~17:00

### ■ 場所

大田区産業プラザPi0 大展示ホール

### ■ 主催

国土交通省団

### ■ 定員

300名 ※参加費無料

### ■ 申込方法

6月15日(金) 17:00までに、FAX又はメールにてお申し込みください。

<メールでお申し込みいただく場合>

メールに氏名、所属、連絡先住所、電話番号、Fax 番号、E-mail アドレスをご記入の上、  
green-mobi@fukken.co.jp 宛に送信してください。

<FAXでお申し込みいただく場合>

参加申込書に、必要事項をご記入の上、FAX 03-5835-2632 宛に送信してください。

参加申込書：[http://www.fukken.co.jp/pdf/180530\\_fax③.pdf](http://www.fukken.co.jp/pdf/180530_fax③.pdf)



# グリーンスロー モビリティ シンポジウム

~ Green! Slow! Safety! Small! Open! 地域を開く New Mobility!! ~

国土交通省では、まち・住まい・交通の一体的な創着省エネルギーの実現・低炭素社会の実現を目指しています。今回、地域が抱える様々な交通の課題の解決と、地域での低炭素型モビリティの導入を同時に進められる「グリーンスローモビリティ(※)」の推進に向けて、グリーンスローモビリティを活用した実証調査(手動運転)を今年度行うため、グリーンスローモビリティの理解を深めていただくためのシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは、グリーンスローモビリティの特長や、地域での具体的な導入イメージ、今後の活用可能性等について、基調講演や事例発表、パネルディスカッションを実施します。また、実証調査の地域募集に係る説明を行うとともに、同会場内では、各種グリーンスローモビリティ(ゴルフカー・eCOM8など)の展示コーナーや相談ブースも設け、実際にグリーンスローモビリティに触れていただき、グリーンスローモビリティへのご理解を深めていただきたいと思いますと考えております。

全国自治体のご担当者様をはじめ、多くのみなさまのご参加をお待ち申し上げます。

※グリーンスローモビリティ…電動で、時速20km未満で公道を走る4人乗り以上のモビリティ



2018

日時 **6.25** 月  
14:00~17:00

参加費無料

定員  
**300**名

会場 **大田区産業プラザ PiO 大展示ホール**



- 電車でお越しの場合
  - ・京浜東北線「京急蒲田」駅より徒歩3分
  - ・JR 京浜東北線、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩13分
- バスでお越しの場合
  - ・JR 蒲田駅(東口)の乗り場4・5から下り系統のバスに乗り換えて「京急蒲田駅(東口)」で降車(第30-第31/羽田空港行、第31-第33/羽田車庫行、第35/東船場六丁目行、第36/森ヶ崎行)

申込方法 **参加ご希望の方は、FAX 又はメールにてお申し込みください。**

- FAXでお申し込みいただく場合
  - 参加申込書(FAX用)\*に、必要事項をご記入の上、FAX 03-5835-2632 宛に送信してください。
  - \*参加申込書(FAX用)は下記 URL より入手いただけます。
  - <http://www.fukken.co.jp/news/12997/>

- メールでお申し込みいただく場合
  - 氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・E-mail アドレスをご記入の上、メールアドレス [green-mobi@fukken.co.jp](mailto:green-mobi@fukken.co.jp) 宛に送信してください。

## 【プログラム】

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 基調講演① 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 稲田実 教授
- 14:25 基調講演② (公財)交通エコロジー・モビリティ財団 岡山博嗣 交通環境対策部長
- 14:45 活用事例① 輪島商工会議所 里谷光弘 会長
- 15:00 活用事例② 京都府建設交通部交通政策課 寺井豊 課長
- 15:15 活用事例③ 株式会社朝生再生 清水宏康 代表取締役
- 15:30 休憩
- 15:50 パネルディスカッション  
「地域を開く! グリーンスローモビリティの可能性について」  
パネリスト: 名古屋大学大学院 環境学研究科 加藤博和 教授  
大分県高尾エコツーリズム推進協議会 寺下満 会長  
東京都豊島区都市整備部 原島克典 参事 交通・基盤担当課長事務取扱  
智匠テクノロジー株式会社 鎌谷誠祐 取締役/事業推進部長  
株式会社シンクトゥギャザー 宗村正弘 代表取締役  
(公財)交通エコロジー・モビリティ財団交通環境対策部 熊井大 課長  
コーディネーター: 国土交通省総合政策局環境政策課 三重野真代 課長補佐
- 16:45 「グリーンスローモビリティポイント集」と実証調査地域募集の説明  
国土交通省総合政策局環境政策課 三重野真代 課長補佐
- 17:00 閉会挨拶

申込締切 **平成30年6月15日(金) 17:00**

\*なお、定員に達し次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

主催 **国土交通省**

後援 **(公財)交通エコロジー・モビリティ財団**



## < 掲 示 板 >

### ☆ 地域公共交通支援センター

公共交通政策部では、市町村をはじめとする各地域の関係者が、地域公共交通の確保・維持に取り組む際に有効に活用いただくため、全国各地における様々な先進事例（約300事例）を蓄積している「地域公共交通支援センター」を運用しております。

「地域公共交通支援センター」は、地域、人口、交通モード等により、先進事例を検索することも可能となっております。是非ご活用下さい。

<地域公共交通支援センター> <http://koutsu-shien-center.jp/index.html>

### ☆ 公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」

公共交通利用促進キャラクター「のりたろう」（以下「キャラクター」という。）は、公共交通の利用促進について、より効果的な広報・啓発を行うことを目的としております。

キャラクターの使用を希望される場合、地方運輸局交通政策部交通企画課までお問い合わせ下さい。申請手続きについてご案内致します。

なお、「地域公共交通支援センター」においても、キャラクターの申請手続き、使用方法、FAQをご案内しております。

#### 公共交通利用促進キャラクター のりたろう



大好きな公共交通機関で働くことを夢見ていたが、ネコでは単独で乗り降りができないことから一念発起。自らが新たなハイブリッド公共交通機関に進化することで夢を実現し、現在は利用促進PRの先頭に立って活動している。

駅長を務めるなど活躍中の仲間達を同じネコとして尊敬しており、いつか会って公共交通について熱く語り合いたいと思っている。

- ・移動手段は「ネコ足歩行」
- ・自由に移動できるが、疲れてしまうので 100 歩ごとに休憩が必要
- ・乗車可能人数は運転士（のりたろう本人）を含めて 1 名のみ！

読者の皆様からのご要望や全国に共有したい情報等がございましたら、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

#### 【お問い合わせ先】

国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課 石橋

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3（中央合同庁舎3号館3階）

TEL：03-5253-8275（直通）

FAX：03-5253-1513

E-mail: [koutsukeikaku\\_joho@mlit.go.jp](mailto:koutsukeikaku_joho@mlit.go.jp)

#### ★国土交通省HP（情報発信のページ）

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000039.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html)

